職員の勤務労働条件について（小委員会交渉）

令和4年12月2日（金）

局側：環境局総務部職員課長他

組合側1：大阪市従業員労働組合環境事業支部 副支部長 他

組合側2：大阪市職員労働組合環境局支部長 書記長

（局側）

ただいまから小委員会交渉を始める。年末年始期間の収集作業については、平成20年度より定曜日収集を実施しており、本年度についても定曜日収集、即日収集体制を確保するため、令和4年12月29日（木）、12月30日（金）、12月31日（土）に、休日勤務により所定の作業を実施したいと考えている。なお、管理体制は、必要最小限の人数の行政職員・事業担当主事・事業担当主事補の職員が休日勤務にて、所定の業務を実施したい。また、年末年始の期間においては、ごみ排出量の増量等により、作業時間が延伸し、一部で日没後の作業の発生が見込まれるところであるため、作業事故や交通事故等を未然防止する観点から、令和3年7月から取り組んでいる時差勤務に加え、年末期間においては、収集運搬等の作業に従事する職員について8時からの勤務で統一することとし、必要に応じて時差勤務を導入して対応したい。さらに、これまでの時差勤務の実施状況を検証した結果を踏まえ、環境事業センターにおける感染症拡大防止対策（収集車両、庁舎内等のマスク着用、手指消毒、飲食・喫煙時の大きな声での会話を控える等）の徹底を継続しつつ、対象業務の勤務時間を変更し、令和5年1月から勤務時間の統一を図ってまいりたいと考えているので、ご理解とご協力をお願いしたい。

《提案文書の手交》

（組合側）

ただいま、局側から提案を受けたところであり、内容を精査のうえ、後日、実施する本交渉で回答する。

（局側）

それでは、年末年始期間における即日収集体制の確保、時差勤務の導入及び勤務時間の統一にかかる本交渉の日時、場所及び交渉参加予定者を確認したい。

令和4年12月12日（月）18時30分から、環境局あべのルシアス12階第1会議室で実施し、局側は局長以下6名が参加することで進めたいと考えるがいかがか。

（組合側）

本交渉の実施日時、場所、局側の交渉参加予定者について承知した。組合側は、市従は支部長

以下 11 名、市職は支部長以下 5 名で参加する予定としたい。

(局 側)

それでは、本日決定した事項について確認する。

令和 4 年 12 月 12 日 (月) 18 時 30 分から環境局あべのルシナス 12 階第 1 会議室で実施し、交渉参加者については、局側は局長以下 6 名、組合側は、市従は支部長以下 11 名、市職は支部長以下 5 名とする。

以上をもって、本日の小委員会交渉を終了する。